

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
豊かに学び 認め合い 咲かせよう 笑顔と満足の花	〈自分づくりに関する力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子どもたちの夢や希望を育みながら、まちとともに歩む学校づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもが学習の楽しさや達成感が味わえる授業づくりを推進し、学力の向上に努めます。 一人ひとりの子どもが安心できる居場所を保障し、自尊感情を高めるとともに、互いの違いを認め、大切にしよう子どもを育てます。 まちの人とのつながりを大切にし、豊かな体験を通して、自分の将来の姿や生き方を追求していく姿勢を育てます。 全教職員の協同意識を大切にしながらか学校運営や教育課題に取り組む中で、教職員の資質・能力を高めていきます。

(3) 豊かな心の育成に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①異学年交流を通して他者を大切にする心や協力する心を育て、集会や行事にも縦割り班活動を取り入れ、違いを認め合える人間関係を育成する。 ②児童の実態に合った道徳の授業づくりとカリキュラムの改善に取り組み、自尊感情の向上を図る。
担当	特別活動部 道徳部

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

自然豊かな環境にあり、地域の協力を得られる。子どもたちは、素直で人との関わりを好む反面、社会規範意識が低く、自己本位の言動が見られることがある。また、自分の思いをわかりやすく相手に伝えることが苦手なために、言葉でのコミュニケーションがうまくいかず、トラブルになってしまう場面もある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】

- 道徳教育の要となる道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身に付けられるようにする。
- ・学校教育全体を通じて行う道徳教育と各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。

【項目 体験活動】

- 5・6年生がリーダーとなって縦割り活動を行い、高学年のリーダーとしての意識を育てる。
- ・年間計画を作成し、年間の見通しをもって活動する。
- ・5・6年生は、仲良しリーダー会議で全校活動の企画の話合いを重ねることで、学校生活に参画する姿勢を育てる。
- ・4・5・6年生は、ペア学年遊びやペア学年集会でみんなが楽しめる内容を考え、運営をすることで、自己肯定感や自己有用感を育てる。
- ・下学年は、リーダーである高学年の姿を見て「あこがれ」の気持ちをもつ。
- ・異学年の交流を通して、互いを思いやる心や協力しようとする気持ちを持ち、相手意識をもったコミュニケーション能力を育てる。
- ・毎時間のねらいを明確にし、職員間での共通理解を図る。
- 幼稚園・保育園との継続した交流を行う。
- ・園児との継続交流や、学校体験会などを通して、相手を思う気持ちを育てたり、満足感や達成感を味わったりすることで、意欲的に活動に取り組めるようにする。